

農 研 速 報

令和元年 7月 31日発行

茨城県農業総合センター農業研究所
〒311-4203 茨城県水戸市上国井町3402
TEL029-239-7212 FAX 029-239-7306

生育状況(7月29日現在、水戸市)

県名	生育ステージ		生育の状況	問題点	これまでに講じた対策及び今後の方針	備考
	本年	平年対比				
茨城県 (水戸市)	ベニアズマ 塊根肥大期	平年より 遅い	<p>気象概況:7月第1半旬～7月第5半旬(直近5カ年の平年値との比較。水戸地方気象台観測値) 上記期間の平均気温は22.2℃で、平年(25.3℃)よりかなり低かった。 降水量は95.0mmで、平年(97.6mm)と同等だった。 日照時間は50.7時間で、平年(143.8時間)に比べてかなり少なかった。</p>	アブラムシの発生が認められる。また、イモキバガやナカジロシタバなどによる食害が見られる。	病害虫、特にナカジロシタバの発生に注意し、適宜防除を行う。	
	べにはるか 塊根肥大期	平年より 遅い	<p>地上部の生育(つる重)は、「ベニアズマ」、「タムユタカ」は平年より重く、「べにはるか」は平年並であった。</p> <p>地下部の生育は、3品種とも平年に比べて肥大が遅れていた。 「ベニアズマ」は1株当たり塊根数が多かったが、塊根1個重、総いも重は軽かった。 「べにはるか」は、1株当たり塊根数が少なく、塊根1個重、総いも重は軽かった。 「タムユタカ」は、1株当たり塊根数が平年並だったが、塊根1個重、総いも重は軽かった。</p>			
	タムユタカ 塊根肥大期	平年より 遅い	<p>7月の平均気温が低く、日照時間が少なかったため、地下部の肥大が遅れている。降水量は平年並であったため、地上部の生育は平年並～多かった。</p>			

表 生育調査(挿苗後74日、7月29日調査)

品種	つる重			1株当たり塊根数			塊根1個重			上いも重			総いも重		
	本年 (kg/a)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (個)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (g)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (kg/a)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (kg/a)	前年比 (%)	平年比 (%)
ベニアズマ	268	101 (263.9)	129 (207.8)	4.8	107 (4.5)	116 (4.2)	40.8	50 (81.6)	64 (63.9)	72.3	54 (133.7)	78 (93.0)	88.3	61 (145.3)	83 (106.3)
べにはるか	280	83 (338.1)	102 (274.0)	4.1	76 (5.4)	86 (4.8)	49.0	72 (67.9)	83 (59.0)	61.2	49 (123.7)	66 (93.1)	79.4	55 (145.4)	70 (113.5)
タムユタカ	130	49 (265.2)	124 (104.2)	3.6	97 (3.7)	95 (3.8)	20.2	38 (53.5)	70 (29.0)	11.3	17 (67.2)	50 (22.6)	28.7	37 (78.0)	68 (42.4)

()内は前年または平年の数値。平年値は平成26～30年(5カ年)のデータの平均値。※ただし「べにはるか」は平成28～30年(3カ年)のデータの平均値

塊根は直径3mm以上のものとした。

挿苗日:5月16日(「ベニアズマ」、「べにはるか」は黒マルチ栽培、「タムユタカ」は無マルチ栽培)、栽植密度:400株/a(畦間100cm×株間25cm)、施肥量(kg/a):N-P₂O₅-K₂O=0.3-1.0-1.0

農研所内圃場における生育状況 (7月29日撮影)



ベニアズマ



ベにはるか



タマユタカ